

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(八基小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学	理科
八基小	やや下回った	やや下回った	下回った
埼玉県	68	58	58
全国	66.8	58	57.1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位%)

	質問事項	八基小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	93.8	94.3	93.7
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	93.8	83.9	81.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	100	91.9	91.0
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	81.3	84.8	81.7
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	68.9	25.6	24.9
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	50.1	49.0	47.1
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	31.4	54.1	53.2
教科への関心	国語の勉強は好きだ	62.5	59.3	58.3
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	87.5	92.1	90.4
	算数・数学の勉強は好きだ	62.6	58.7	57.9
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	93.8	93.0	91.6
	理科の勉強は好きだ	93.8	81.4	80.1
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	81.3	81.7	79.9
主体的・対話的な学習	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81.3	84.7	80.3
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	81.3	75.7	68.6
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	87.6	82.8	77.8
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	93.8	87.9	84.9
その他	自分には、よいところがあると思う	93.8	88.5	86.9
	将来の夢や目標をもっている	93.8	84.7	83.1
	人の役に立つ人間になりたいと思う	87.5	96.8	96.4
	今住んでいる地域の行事に参加している	50.1	39.1	39.4

【質問紙分析】

- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」の割合が、県・市平均よりも高いのは、本校のふるさと教育の充実が図られているためと考えられる。
- ・「勉強が好きだ」と回答している割合は、各教科とも県・市平均を上回っており、学びに対する意欲や興味関心が高いと言える。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

○1三(1)

自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、もっとも適切なものを選択することができる。

○1三(2)

読み取りから最も適切なものを選択することができる。

●3三(2)

条件を満たして、適切に文章を書くことがほとんどできていない。また、目的に応じて、文章と資料などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることにも課題がみられると考えられる

●3三(1)

上記同様、文章と資料などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることが苦手な児童が多いと考えられる。

【算数】

○2(3)

角の大きさは、角をつくる2つの辺の開き具合が関係していることを概ね理解できている。

○3(4)

分数の加法の計算において、異分母の場合、通分して計算することが概ねできている。

●2(4)

基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて説明することができない児童が多い。分割や立式はできていても、どのように説明を記述すればよいのかで戸惑う児童が多いと考えられる。

●3(2)

共通する単位分数を見いだすことや記述表現するための条件を読み解けない児童が多いと考えられる。

【理科】

○3 (1)

ヘチマの花のつくりや受粉について概ね理解できている。

○2 (3)

電磁石の強さと巻数の関係について概ね理解できている。

●4 (1)

水の温まり方について、結果に基づいたまとめをすることと、解決するための観察・実験の方法が適切であったかを考え、表現することが苦手な児童が多いと考えられる。

●2 (1)

アルミニウムの性質について、電気を通すことや磁石に引きつけられないことを正しく理解できていない児童が多い。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・新聞ワークシートなどを活用し、自分の考えと必要な情報を結びつけ、自分の論を進められるような活動を取り入れる。
- ・ミニ新聞等の活用を通して、自分の考えを書ききらせるようにしていく。
- ・国語科に限らず、各教科において自分の考えを相手に伝えたり、文章で表現したりする活動を継続してどの学年でも取り入れる。
- ・言葉の木など、語彙を増やすことができるような環境整備も合わせて進めていく。

【算数】

- ・普段の授業の中で、分かっていることや問われていることなどに線を引き、意識させる習慣をつけさせたり、コバトン問題や問題集等で基礎基本の定着化を図ったりしていく。また、ドリルパークなども活用していく。
- ・授業の導入や展開の中で、意識的に算数用語等について確認したり、子供たちが使える場を意図的に設けたりし、理解につなげるようにしていく。
- ・用語カードや公式など、掲示環境を充実させ、適宜復習できるような学習環境をさらに充実させていく。

【理科】

- ・実験結果からどんなことが分かるかを個人、グループで意見を出し合った後、全体で共有を図り練り上げていく。
- ・実験を通して発見させ、自分の言葉でまとめ、共有を図っていく。

【その他】

- ・子供たちが手に取りたくなるような本を計画的に購入・紹介し、読書環境を充実させられるようにしていく。また、読書タイムを日頃から取り入れ、習慣化させていく。
- ・個人面談や懇談会等で、授業の様子や学力調査の分析結果を報告し、子供達の力を伸ばせるよう、学校と家庭で連携して取り組んでいくようにする。